

今日のトピック

ECBは現行政策を維持、ギリシャ支援を拡充

ポイント1 月600億ユーロの購入を維持 ギリシャ向けELAを増額

- 欧州中央銀行(ECB)は16日、政策金利、預金金利を、それぞれ0.05%、マイナス0.20%に据え置くことを決定しました。また、3月から開始した月600億ユーロの国債などの購入策を2016年9月まで継続する方針を維持しました。
- ECB理事会に先立ち、欧州連合(EU)によるギリシャへの70億ユーロのつなぎ融資実行が決まっています。これは15日にギリシャ議会で財政改革法案が成立したことを受けたものです。
- またECBは、6月26日の残高で凍結していたギリシャへの緊急流動性支援(ELA)の上限残高を9億ユーロ引き上げるとしました。

ポイント2 ECBはギリシャ支援に前向き 量的緩和でギリシャ国債購入に含み

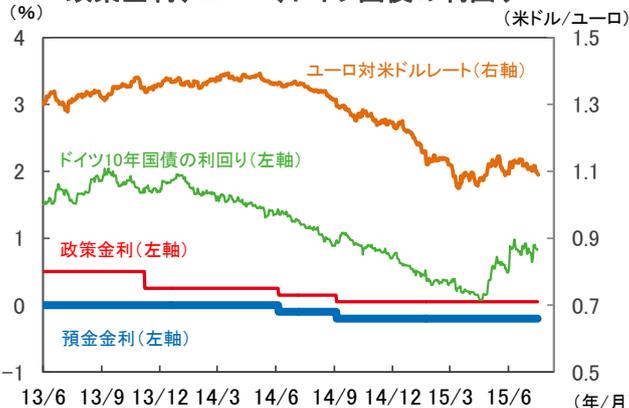
- ドラギ総裁の記者会見ではギリシャ問題に質疑が集中しました。総裁は、「状況は変わった」と、ギリシャがユーロ圏に残留することを前提に支援を続ける姿勢を示しました。
- 総裁はまた、ギリシャ国債は、一定の条件が整えば、量的緩和の対象となると発言し、将来的なギリシャ国債購入の可能性を示唆しました。

今後の展開

ギリシャ不安は一旦後退し、量的緩和継続で物価目標達成へ

- 声明文では、量的金融緩和は概ね想定に沿ったペースで進み、インフレ期待は前回の会合以降上昇していると指摘しました。足元の金融環境の不確実性の高まりによる景気や物価見通しの変更はないとしました。物価目標の達成に向けて、現行の量的緩和が継続され、金融市場の変動が高まった場合には、追加緩和も予想されます。
- ドイツ国債の利回りは金融緩和継続により、低位で落ち着きどころを探る展開が見込まれます。

政策金利、ユーロ、ドイツ国債の利回り



(注) データは2013年6月1日～2015年7月16日(為替レートは日本時間7月17日12:00時点まで)。政策金利はMain Refinancing Operations金利。預金金利はDeposit Facility金利(翌日物)。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ギリシャを巡る今後の主な予定

7月17日	ユーロ加盟国のギリシャ財政改革法案の承認手続き完了
7月20日まで	EUによる70億ユーロのつなぎ融資実行
7月20日	ギリシャ国債償還約35億ユーロ (大半はECBが保有) IMFに対する延滞債務の返済 ギリシャの銀行営業再開
8月以降	欧州安定メカニズム(ESM)による500億ユーロ程度の金融支援検討 (ギリシャの銀行への100億～250億ユーロの資本注入を含む)
8月中旬	EUによる50億ユーロのつなぎ融資へ
8月20日	ギリシャ国債償還約32億ユーロ (大半はECBが保有)
9月3日	ECB理事会

(注) 上記は作成基準日現在の予定であり、変更されることがあります。

(出所) 各種報道を基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも チェック!

2015年07月13日 **ギリシャ協議は未決着、財政改革法制化に3日間の猶予**
2015年06月04日 **ECBは現行の金融緩和策を維持**

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。